

国内外におけるユネスコ活動の推進

令和3年度予算額(案) 355百万円
前年度予算額 363百万円

資料2 - 1

戦後、我が国が初めて加盟した国際機関であるユネスコとは**長く緊密なパートナーシップ**を形成。ユネスコは、本年以降、「持続可能な開発のための教育(ESD):SDGs達成に向けて(ESD for 2030)」といった**新たなフェーズが始動**する。こうした中、我が国は、**ユネスコ活動の多様なステークホルダーを結集し、日本の強みとユネスコの専門性を組み合わせた取組**を重点的に実施することで、国内外のユネスコ活動を**戦略的且つ効果的に推進**。

信託基金を通じたユネスコ事業への協力～我が国のプレゼンス向上とSDGs達成への貢献～ 200百万円(200百万円)

信託基金協力事業の実施を通じ、我が国の強みを生かした事業を戦略的・重点的に推進。ユネスコにおける我が国の影響力・プレゼンスの向上を図るとともに、重要施策において一層主導的な立場を確保しつつ、SDGs達成に向けた国際貢献・協力を進める。

アジア太平洋地域における教育・科学分野での戦略的・重点的支援 開発途上国への教育協力事業

(アジア太平洋教育協力信託基金) 50百万円(50百万円)

我が国の知見・経験とユネスコの専門性を生かした教育協力を行い、アジア太平洋地域の国々との関係をさらに強化しつつ、教育を通じたSDGsの実現へ貢献する。

ユネスコ地球規模課題の解決のための科学事業信託基金

拠出金40百万円(40百万円)

ユネスコ科学事業(海洋、水、生物多様性分野等)を通じ、能力開発・リーダー育成、研究ネットワーク形成、域内政策形成等を支援

我が国の主導的立場確保に資するユネスコ重点分野・課題への貢献 SDGs実現のための教育プログラム戦略的支援信託基金

50百万円(50百万円)

SDGsの実現に向けて、国連システムにおけるSDG4(教育)の主導機関であるユネスコが実施する教育事業への戦略的支援を実施

既存事業(50百万円)を組替

ユネスコ「世界の記憶」協力事業信託基金拠出金

60百万円(60百万円)

記憶物の保全・保護等に関する能力開発のためのワークショップ開催や地域の実情に応じた記録物の保護等のためのツールキット作成支援を実施

コロナ禍後の社会におけるユネスコ活動を通じた持続可能な社会づくり 12百万円【新規】

2021年は日本のユネスコ加盟70周年となる年である。一方、「新たな日常」の実現に向けた社会変革の推進力となる人材の必要性が増大している中、**予測不可能な社会におけるユネスコ活動の取組を共有するとともに、新たな学びの在り方やユネスコに期待する役割を国内外に発信することで、次世代を担う若者に学びの場を提供し、持続可能な社会の実現に貢献する。**

- ✓ ユネスコ(パリ本部)におけるセミナーの開催

ユネスコ未来共創プラットフォーム事業 92百万円(112百万円)

世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動の活性化に向けて、SDGsの達成に向けた取組等を進める多様なステークホルダーの知見を得て、国内のユネスコネットワーク拠点の戦略的整備と先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進する体制を構築する。

- ✓ ユネスコ未来共創プラットフォーム事務局の構築・運営
- ✓ 国内ユネスコネットワーク拠点の戦略的整備
- ✓ 先進的なユネスコ活動の海外展開

SDGs達成の担い手育成 (ESD) 推進事業 50百万円(50百万円)

国内外で高まるESDのニーズを踏まえ、SDGs達成の担い手を育む多様な教育活動を実施・支援し、SDGs達成の担い手に必要な資質・能力の向上を図る。

- ✓ カリキュラム等の開発・実践
- ✓ 教師教育の推進
- ✓ 教育(学習)効果の評価と普及
- ✓ ユース世代の活動の推進

我が国の影響力・プレゼンス向上を図るとともに、SDGs達成に向けた貢献を果たす



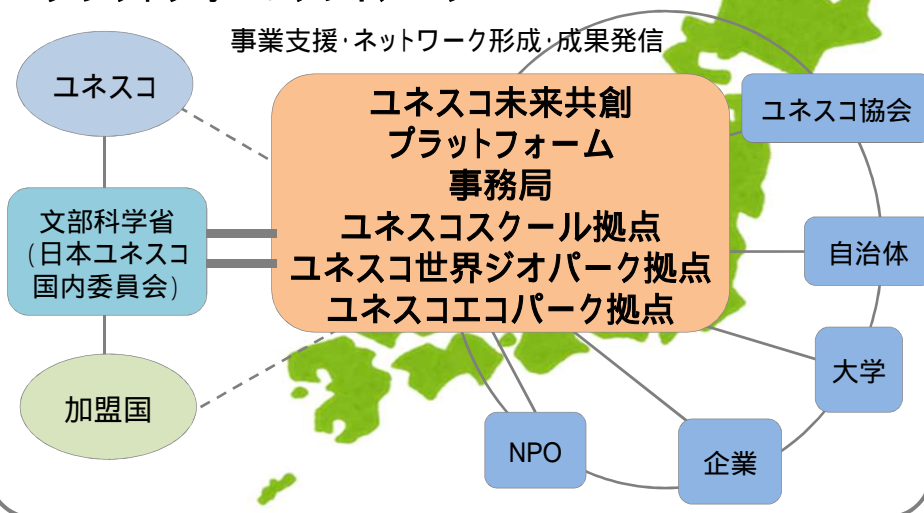
ユネスコ未来共創プラットフォーム

～世界と地域をつなぐユネスコ活動の推進～
令和3年度予算額(案) : 92百万円 (前年度予算額: 112百万円)

世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動の活性化に向けて、SDGsの実現に向けた取組等を進める多様なステークホルダーの知見を得て、国内活動と国際協力の成果の往還に資するよう、国内のユネスコ活動拠点ネットワークの戦略的整備と先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進する体制を構築・運営する。

コロナ禍によるパラダイムシフトが起こっている社会において、また日本のユネスコ加盟70周年を機に、ユネスコの役割の再認識及びユネスコ活動のメリットを生かした地域創成や多文化共生社会の構築、多様なステークホルダーの連携を深める戦略的なプラットフォームを通じて、ユネスコ活動の活性化を通じた持続可能な社会の構築を推進するとともに、日本の取組を世界に発信する。

<プラットフォームのイメージ>



期待される効果

() 急速な社会変化に即応した恒常的な情報発信、
() 民間団体との連携強化、 () 国内のユネスコ活動と国際協力の成果の往還 を通じて、我が国のユネスコ活動が我が国やユネスコの優先課題の解決を通じて持続可能な社会の構築に貢献

<事業内容>

「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事務局の構築・運営

SDGsの実現に向けて積極的に取り組む多様なステークホルダーと連携し、ユネスコ加盟70周年やコロナ禍を受けてのユネスコの役割の再認識と「新たな生活様式」における持続可能な社会の構築を推進するため、ユネスコ活動の更なる充実や、活動成果の国内外への戦略的発信、先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進することを目的としたプラットフォームを構築・運営する。

(事業内容)

- SDGs実現に向けた全国及び地域ネットワークの構築及び連携強化
- ポータルサイトの構築・運用を通じた国内外への情報発信
- 海外展開を行う草の根のユネスコ活動の公募・審査・実施 等

ユネスコスクールネットワーク拠点の運営

ユネスコスクール事務局として、「持続可能な社会の創り手」育成の拠点となるユネスコスクールの活性化を図るため、加盟申請や活動支援、講習会や研修会の開催、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUivNet)の支援等を行う。

(事業内容)

- ユネスコスクールの加盟申請に係る業務
- ユネスコスクールの活動を支援するための指導・助言や研修等
- ユネスコスクール向けの講習会、研修会の開催 等

ユネスコ世界ジオパーク拠点の運営

日本ジオパーク委員会の事務局として、ユネスコへの推薦に係る業務、再認定審査に係る業務、選考基準策定、ユネスコとの連絡調整等を行うとともに、我が国におけるユネスコ世界ジオパーク活動を推進し情報発信を強化する。

ユネスコエコパーク拠点の運営

日本国内のユネスコエコパークについて、国際的な動向を踏まえた管理運営を推進することを目的とした実務者ワークショップを企画・開催する。海外ユネスコエコパーク実務担当者との意見交換等による管理運営ノウハウの共有等